

平成27年度第2回府中市障害者計画推進協議会

会議録

日 時：平成27年10月30日（金） 午後2時～午後3時45分

場 所：府中市役所北庁舎3階第4会議室

出席者：（敬称略）

< 委 員 >

高木憲司、石見龍也、下條輝雄、鈴木卓郎、山本博美、飯嶋智広、
大塚雄二、古寺久仁子、上村好美、河井文、田中清美、荒畑正子、
中坪良子

< 事務局 >

福祉保健部長、福祉保健部次長、障害者福祉課長、障害者福祉課長補佐、
地域福祉推進課長補佐、地域福祉推進課理事、
障害者福祉課生活係職員（2名）

傍聴者：2名

議 事：開会
議事

- 1 前回会議録について（資料1）
- 2 障害者計画・障害福祉計画（第3期）の進行管理について
（1）進行管理の進め方について（資料2）
（2）障害者計画の進行管理について（資料3）
（3）障害福祉計画（第3期）の進行管理について（資料4）
- 3 その他

資 料：資料1 平成27年度第1回府中市障害者計画推進協議会会議録（案）

資料2 進行管理の進め方

資料3 障害者計画 進行管理一覧表

資料4 障害福祉計画（第3期） 進行管理一覧表

開 会

事務局

皆さんこんにちは。時間になりましたので、ただいまから計画推進協議会を始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、ご出席を賜りまことにありがとうございます。委員18名中13名にご出席いただいております、本協議会の定足数を満たしておりますので、ただいまより平成27年度第2回府中市障害者計画推進協議会を開催いたします。

(資料の確認)

続いて、本日の会議にご欠席の委員についてご連絡いたします。本日は、杉本委員、野村委員、真鍋委員、山口委員、岩村委員が欠席、また、飯嶋委員から途中退席の申し出をいただいております。

本日の会議の進行につきましては、次第に記載のとおり、会議録のご承認と前期障害者計画及び障害福祉計画（第3期）の進行管理を主な議事としております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ここから会長に進行をお願いいたします。

会長

それでは、引き続きまして、私から進行していきたいと思っております。

次第に従って進行してまいりたいと思っておりますが、その前に、会議の公開に当たり、傍聴希望者に入室をしていただきます。本日は傍聴希望者が2名いらっしゃるということです。入室していただけてよろしいでしょうか。

事務局

2名の方から申し込みはあったのですが、まだ来られていないので、来られたら入室していただくということでよろしいでしょうか。

会長

わかりました。遅れられているのかもしれないです。来られ次第入室ということで、皆さんにはご了解をいただいたと思っております。

議 事

1 前回会議録について

会長

では、早速お手元の次第に沿って議事を進めてまいります。

まず、議事の1番、前回会議録について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

(資料1について説明)

会長

これは事前に皆様方のお手元に届いていたかと思えますけれども、お読みいただいでいかがでしょうか。修正等のご意見があればお伺いしたいと思います。

(発言する者なし)

会長

ないようでしたら、承認いただいたということで進めてよろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、事務局はこの会議録の公開手続をよろしくお願ひしたいと思います。

2 府中市障害者計画・障害福祉計画（第3期）の進行管理について

(1) 進行管理の進め方について

会長

続きまして、議事の2番、府中市障害者計画・障害福祉計画（第3期）の進行管理についてです。

まず、(1) 進行管理の進め方について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

(資料2について説明)

会長

事務局からの説明がありましたように、この協議会で何をするかということですね。進行管理とはそもそもどういうことなのかという定義と流れについてご説明があったところです。

これについて何かご意見等ありましたらお願いします。

(発言する者なし)

会長

これはもう前提ということによろしいですかね。

それでは、先に進めたいと思います。

(2) 障害者計画の進行管理について

会長

進行管理に入っていきたいと思えますけれども、(2) 障害者計画の進行管理についてです。資料3に沿って、順次進めてまいりますけれども、障害者計画には全部で114の事業がございます。事業ごとに少し区切りをつけて事務局に説明していただき、評価を行っていただきたいと思います。

まず、そういう進め方でよろしいですか。

では、1ページについて事務局から説明をお願いいたします。

事務局

(管理番号 1 ~ 6 番の事業について説明)

会長

ありがとうございます。

1 ページにつきましては、記載のとおりではあるのですが、一例を挙げますと、広報紙の発行部数ですとか、日常生活支援用具の中の情報通信支援用具の給付数ですとか、手話通訳者の派遣あるいは手話講習会の開催数、受講者、修了者の人数、そういったところが入ってございます。

これらについて、我々がこれから ・ ・ ・ × というところをつけていかなければいけないのですが、資料についてのご質問等があれば先に伺いたいと思いますが、いかがですか。

(発言する者なし)

会長

ないようでしたら評価に移っていきたいと思うのですが、基本的に平成 26 年度事業実績に対する評価としては、この 1 ページに関しては事業内容のとおり実施されていると思うのですが、この 1 ページについて、すべて という評価でよろしいかどうかお諮りしたいと思います。いかがでしょうか。1 ページは問題ないですかね。

(発言する者なし)

会長

では、1 ページについては、すべての事業について という評価を協議会としては結論を得たということにしたいと思います。

では、2 ページ目に移っていただきまして、(2) 相談・権利擁護事業の充実のところを説明していただきたいと思います。

事務局

(管理番号 7 ~ 12 番の事業について説明)

会長

ありがとうございます。

では、7 番から 12 番、相談・権利擁護事業のところですが、ご質問あるいはご意見等ありましたらお願いいたします。

委員

管理番号 10 番の「『C I L ふちゅう』」に対する補助金は、実績なし。」ということで、それまでずっと当事者のエンパワーメントの事業ということで補助金が出ていたものが、平成 26 年度に関して補助金実績なしとなって、これは何か特段の理由があったら教えていただきたいと思います。

会長

お願いします。

事務局

C I Lふちゅうから、人事の関係で担当できる方がいなくなってしまったところから、継続が難しいという申し出があり、実績がないという状態です。

委員

わかりました。ありがとうございました。

会長

ピアカウンセリング等の事業自体は継続して実施されているという理解でよろしいですか。

事務局

補助金は支出していないのですけれども、C I L自体では、ピアカウンセリングをやっているものと認識しております。

会長

補助金の実績はなくなりましたが、ピアカウンセリングの事業自体は、C I Lふちゅうにおいて継続されているという理解でよろしいかと思えます。

その他、お願いします。

委員

今の事項に関してさらに質問なのですが、府中市障害者参加型サービス事業補助金自体は平成28年度以降、実際に実績を伴う事業所が府中市にあらわれた場合は、C I Lふちゅうや、あるいは他の団体でも、補助金として交付を受けること自体は制度として残っているということでしょうか。

会長

補助金の廃止までしたのかどうかという話ですけれども、よろしく願いいたします。

事務局

要綱自体は廃止しておりませんので、実施できる団体等がございましたら、まずは計画等々をお聞きしながら、補助金審査委員会にかけて、認められていくかどうかということになります。

会長

廃止はしていないという理解でよろしいかと思えます。

その他ございますか。

(発言する者なし)

会長

では、評価に移っていきたく思いますけれども、こちらも計画事業内容のとおり実施されていると考えます。したがって、7から11番まで という評価をこの協議会で結論を出したいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですね。

では、7から11番について という結論でいきたく思います。

では、続きまして、(3)管理番号13番から次のページの20番までお願いした

いと思います。

事務局

(管理番号 13 ~ 20 番の事業について説明)

会長

ここはちょっとすんなりいかないところがあるようではありますが、まずはご意見、ご質問があればお願いします。

委員

まず、13番の第三者評価ですが、こちらに障害者施設の数字が全然ないのですが、多分市内で受けている施設が平成24年から26年の間に少なくとも何カ所かはあるかと思うのですが、なぜないのかということと、あと、次のページの管理番号15番の人材育成について、平成26年度から事業を廃止したということですが、ここでは廃止しているのだけれども、こういった人材育成のための研修事業を他のところで継続して行っているのかどうかということを確認したいと思います。

会長

ありがとうございます。

では2点、事務局、お願いします。

事務局

実は第三者評価について、委員のおっしゃるとおり、障害者施設も当然行ってはいるところなのですけれども、確認して、記載できたら記載いたします。

事務局

2点目について答弁させていただきます。

人材育成の部分について、どこかでやっているのかというところですが、こちらを廃止した最大の理由は、ホームヘルパー2級の養成を主とした事業でございました。こちらの事業につきましては、既に民間事業者で十分成果を上げている状況があるということでしたので、公で教室代と材料を投入して人材の育成という形は十分他で立ち上がっているということで、事業を廃止した経過がございます。

もう一つ、視覚障害者の方のガイドヘルパーの養成研修もあわせてやっていたところですが、最終的に制度が変わりまして、今までやっていた体制ですと認定資格が取れないという状況がわかりまして、やむなく廃止ということになりました。現在は他のところで対応ができておりますので、そこで同じような対応が十分できるという判断で廃止をしたものでございます。

その後のフォローということでございますが、職員の質を上げるという形でのフォロー研修は、それぞれの施設でやっていただいていると聞いておりますので、十分体制は整っているものと認識しております。

会長

すみません、追加の質問で、ホームヘルパー2級に関しては民間にお任せしたいという話はわかるのですけれども、ガイドヘルパーは、他のところで対応しているとい

うのは、これは、他の地区でやっている分に対応しているという意味で理解すればいいんですか。

事務局

東京都で研修を実施して、そこで認定されています。

会長

わかりました。都の研修に対応しているということだそうですね。よろしいでしょうか。

委員

はい。

会長

その他ありますでしょうか。

(発言する者なし)

会長

15番の進捗状況の評価ですけれども、これはもう斜線になるのですかね。評価はしないということによろしいですか。

事務局

事業がないため、評価できないということです。

会長

では、その他ご意見なければ評価に移りたいのですが、まず、13番の障害施設については、記載漏れがあるかもしれないので確認するという付記はつきますが、障害施設について何団体が実施したかというのは、後ほど皆さんにお知らせするとして、この場では としたいと考える。14番についても ということ、この2つについて によろしいでしょうか。

3ページに移りまして、一番上がバーですね。2番目、15番のもう一つのところが で、16番ですけれども、これは相談及び実績なしというところになっています。これをどのように評価するかというところをこの協議会で考えなければいけないのですけれども、前年度までの状況を見ますと、相談がないから実績は出ていないが、相談の窓口としてはきちんと対応しているということで という評価にしているようです。問題なければ、平成26年度もこのまま という評価でもよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

会長

では、去年の評価を引き継いで ということにさせていただきたいと思います。

17番は、開催日程が増えていて と。19番が実態としてはピアカウンセリング活動はやっているということにはなるのですが、補助実績はなくなったということで、計画における事業を実施したかどうかという観点から言うと×になるかと思います。

最後の20番、これについては活動支援しているということで になるかと思いますが、17番から20番については、17番が 、19番が×、20番が

ということでもよろしいでしょうか。

これは、19番と16番の整合性ですけれども、相談というか申し込みがない場合に、当然補助実績もなくなるわけですが、それも×と位置づけていいかどうかというところ。16番との関係性において、どっちに合わせるのかということがあると思うのですけれども、その辺はどういたしましょうか。

16番の考え方に合わせれば、これは になるのではないかという考え方もできるかと思えます。どちらかに統一はしないといけないと思えますが、相談の窓口、補助の窓口としてはオープンにしておいて、それで、申し込みがなかったということで言えば16番と同じではないかということで、19番も でよろしいでしょうか。

委員、お願いいたします。

委員

私の見方でいいかわからないのですけれども、16番に関しては、事業所が新体系の事業に移行することに伴ってのものということですから、状況として、新体系に移行する事業所がなくなったので実績・相談なしということが考え得るのかなと思うのですけれども、19番の自主グループへの支援というのは、まず、先ほどC I Lふちゅうの人事上のこともあって、C I Lふちゅうに補助金の交付がなかったということですが、それだけではなくて、やはり市内に自主グループの活動をしている人たちがどのぐらいいて、実際に補助の交付の対象とするかどうかということも、どれだけ市としてリサーチしていったのかというようなことを踏まえると、一概に同じとは言えないのかなとも思うんですよ。

私は、どちらかというとなら19は×に近いのかなと思ひまして、そういった自主グループの活動が、あまり府中市内に根づいていなかったという状況も踏まえると、これは×でもいいかと思ったりしました。

会長

私もその辺はすごく気になって、事前打ち合わせでもかなり議論したところなのですが、16番は、確かに今、委員からご指摘があったように、6年前の当初は、新体系への移行というところでの計画だったのですけれども、平成24年度以降については、新規の施設整備について、この計画についての実績という位置づけでやってきたということがあって、確かに事情がもう6年前と違い、16番は項目自体が古くなっているという特殊事情があります。そういった中で16と19を無理に合わせなくてもいいのではないかと。19は、やはり実績がないという事実を踏まえて×なのではないかというご意見だと思います。

ただ、ここも補助実績ということではないのですけれども、そういった自主グループ活動自体がなくなったわけでもないということもまた悩ましく、×というのも厳しいような感じもするのですが、ここをちょっと決めないと先に進めないのどうするかということですね。

委員としては、16は でいいけれども、19は×なのだ。その他の委員のご意

見ありますでしょうか。

委員

19番については、ただいまの委員のご発言ももっともかなとも思いながら、10番等の考え方を踏襲すれば、補助金要綱は見ているわけなので、あるんだよということを前提にすれば かなと私は思います。19についてはそう考えます。

それから、16の体系化、それから、施設整備補助についての実績という考え方ですけれども、平成25年度までは施設整備を進めているが、だけれども、実績は必ずなかったよということなのですが、平成26年度は相談実績なしということで、施設整備そのものは進めていなかったのかなと思ったので、ここの表現は、もう少し丁寧に書いていただいたほうがいいかと思いました。

会長

ありがとうございます。

16番の平成26年度実績の書き方がちょっとさらっとし過ぎではないかと。施設整備を進めるという、もちろん意思としてはあると思うのですが、事務局お願いします。

事務局

施設整備に向けては市外、市内法人を含めて相談がちらほらあるのですが、本格的に話が進んでいくことがなくて、それで終わってしまうというのがあります。例えば、社会福祉法人やNPO法人以外に、子育て分野で参入してきている株式会社からの、府中市の状況はどうなのですかといった相談というのがありますので、ここの表現ですけれども、平成25年度と同様な形に少し修正させていただくのが正解かと考えてございます。

会長

ありがとうございます。

では、平成25年度と同じ書きぶりにしていただき、評価も ということでは16番は行きたいと思います。その上で再度19番が残ったわけですが、×の意見、の意見がそれぞれ出たところです。ここについてご意見をお持ちの方があれば、お聞きしたいのですけれども。

委員

結論から言うと私も×なのかなという印象は受けているのですが、要綱があって制度が整っているというのはとてもいいことだと思うのですが、それだけでいいのかなと。事業内容が自主グループへの支援を行うということなので、申し出があったら対応するよというだけで事業がやられたという判断をしていいのかなというところには疑問があります。

会長

ありがとうございます。もうちょっと踏み込んでいけば、自主グループ活動への支援を行うという事業内容が、補助金を出すかどうかだけで語られていいのかという問

題もあると思うのですが、6年前に、補助金を出すか出さないかというところを指標にすると決めているものですから、この平成26年度実績にはもう補助実績なしとしか書けないということで、多分市も非常に悩ましい、事業として継続しているし、さまざまな側面的な支援は行っているのではないかとすることも想像はできるのですが、その辺少し補足があれば、事務局からお聞きしたいと思います。

事務局

精神の家族会が「いこいの部屋事業」というものをやっています。自主グループ的なものでは、そこでピアカウンセリング等を受けていただいているという状況はありますが、その補助金は、別の福祉団体補助金というもので対応しております。

会長

家族会等でやっているのは20番で整理されているものですから、ピアカウンセリング的な支援をしているにもかかわらず19番だけが×になるという、補助実績がないという状況になっているので、区分けも悩ましいところですね。

そういう中で、×というと本当に何もやっていないという誤解を市民に与えかねないということもあたりすると、どうなんでしょう。

委員、お願いします。

委員

1つ提案です。「実績なし」と一言で済ますと、何もやっていない印象を与えてしまうので、できればここに「市内自主グループがあり活動しているが、当該事業に係る補助金の支出はなかった」という書き方をして、その観点から言ったら×だよとしたら整理がつくのではないのでしょうか。

会長

結論としては×がいいのではないかとということですね。

委員

そうです。

会長

確かに、指標として補助金の実績があるかないかで見ているのだから、そこに従えば×だと。

では、そういう整理でいきましょかね。非常に悩ましいところではあるのですが、単に補助実績がない。ただ、ここは少し文言を修正していただいて、事業自体の継続はあることは市民にもお伝えしつつ、補助実績がなかったというところがわかるようにしていただいて、評価としては×という整理でいかがでしょうか。

事務局よろしいですか。

では、次に行きたいと思います。21番から34番までを一括してお願いします。

事務局

(管理番号21～34番の事業について説明)

会長

それでは、確認ですけれども、23番については、評価はしない(-)ということによろしいですね。33番は、検討はしたが子育て分野での活用を行ったために障害分野では未実施となったということで、ただ、ここは有効活用を検討するというのが事業内容になっているので、検討はしたということですね。

その辺を踏まえまして、ご意見、ご質問があればお願いします。

(発言する者なし)

会長

よろしいですか。他に移らせていただきます。

では、先ほどにつきましては、23番はバーにすると。そのほかは でいいと思うのですけれども、問題は33番ですね。「検討は1件行ったが、活用にはいたらなかった。」の部分、検討はしたというところで にしていいかどうか。前年度に関しても同じように、「検討は1件行ったが、活用にはいたらなかった。」で になっているところでありまして、ここも含めて、その他のところすべて でいいかどうかということですが、どうでしょうか。委員、お願いします。

委員

ちょっと感想的なことなのですが、事業の実施をしているかということに関してはすべて にはなると思うのです。ただ、例えば居宅介護は平成26年度から就学前のお子さんは使えないことになっているように保護者の方から伺っています。その他のサービスに関しても、サービスがなければ増えていかないものだと思うので、そのあたりの検討ができないままここで にしてしまっているのだろうかという疑問はあります。すみません、感想です。

会長

ありがとうございます。その事業の内容自体が、就学前のお子さんは使えないということですか。

委員

使えなくなったと思います。平成26年度からですかね。

会長

私は知らなかったのですが、事業の内容を精査する協議会ではないので、ここでそれを協議するというのではないですが、そこはまた別の場、自立支援協議会などで十分協議していただきたいと思います。評価については でいいかなというご意見です。ただ、今のご意見も他の協議会の場等で十分にご議論いただきたい内容というところを付け加えさせていただきたいと思います。

評価については ということによろしいでしょうか。では、33番を含めて ということ結論を得たいと思います。

それでは、続きまして5ページ、35番から40番までお願いしたいと思います。

事務局

(管理番号35～40番の事業について説明)

会長

ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

福祉タクシーの話は、事業規模の拡大の申し出が多々あるのだけれども、昨年どおりでやったということですね。そこは予算との兼ね合い、まさにそういうことだろうと思いますが、事業の実施自体はすべて ということなのでこの5ページは進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

5ページを終わりにして、6ページ目、41番から49番までお願いいたします。

事務局

(管理番号41～49番の事業について説明)

会長

では、ご意見、ご質問があればお願いします。

(発言する者なし)

会長

ここは問題ないでしょうかね。

評価に移らせていただきますが、斜線が入っているところ以外はすべて ということに進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、すべて ということに進めたいと思います。

続きまして、50番から63番までお願いいたします。

事務局

(管理番号50～63番の事業について説明)

会長

それでは、ご意見、ご質問等あればお願いいたします。

すみません、私からで、55番の人数が減っている理由としては、何か見直されたのでしたか。

事務局

55番の歯科医連携推進事業につきましては、平成25年度まで施設入所者の方も対象として新規申し込みを受け付けていたのですけれども、施設入所者の方は施設の管理のもとで歯科医療を行われているという前提に立ち返りまして、平成26年度からは対象外となったことが原因と思われます。

会長

ありがとうございます。皆さん方から、よろしいですか。

評価に行きたいと思いますが、52番についても、これはバーということで、このほかについては と判定をしたいと思いますが、それで進めさせていただいてよろしいでしょうか。

では、続きまして64番から72番まで、よろしくお願いします。

事務局

(管理番号64～72番の事業について説明)

会長

ありがとうございます。

66、67番については、何人参加という数値を盛り込んでいただいて、より具体的にさせていただいたという理解でよろしいですかね。

事務局

はい。

会長

ご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

委員

今の66番、67番ですが、新しく事業が変わったということではなく、具体的に記載したというご説明でした。であるならば、平成24年度、25年度も同じような数字を入れていただいたほうが、よりわかりやすいかと思いましたが、いかがでしょうか。

事務局

担当課に確認して、数字を持っているようであれば同じように記載をさせていただきます。

会長

では、経緯がわかるように、平成24、25年度も数字があれば入れるということに対応させていただきたいところです。

そのほかありますでしょうか。

(発言する者なし)

会長

よろしいですかね。

では、評価に移りますけれども、斜線部分以外はすべて の評価にしたいと思うのですが、それで進めさせていただいてよろしいでしょうか。

では、それで進めさせていただきます。

続きまして、73番から82番までお願いいたします。

事務局

(管理番号73～82番の事業について説明)

会長

ご意見、ご質問お願いいたします。

(発言する者なし)

会長

この部分は比較的數字も見える形で書いていますので問題はないと思いますけれども、評価はすべて というところでよろしいでしょうか。

では、それで進めさせていただきたいと思います。

続いて83番から99番までお願いいたします。

事務局

(管理番号 83 ~ 99 番の事業について説明)

会長

少し長いのですが、83番から99番まで、ご意見あればお願いいたします。

事務局の説明からいくと、97番については×にならざるを得ないかと。計画当初から6年間未実施ということで、事業内容を見てみても、講座の講師と限定されているといったところもあったりして、指標についてもいかがかという思いは個人的にあります。そこを協議する場ではないのですが、ここは言いますと×ということにならざるを得ないかと思いますが、オリンピック・パラリンピックに向けて、今後こういう公開講座みたいなものが利用されるといいなというところ、これからというところですかね。

グループホーム、ケアホームのところは、もうしょうがないですね。これは制度が変わってしまいましたので、この書き方でいいのかどうかということも含めて、ご意見をいただければと思います。

委員

今、会長がおっしゃった点ですが、85番の共同生活介護というのは、事業自体が平成26年度からなくなってしまいましたので、書き方としてはここが実績なしとなって、84番に括弧して95と書くほうがわかりやすいのかなと思うのですが、この95人というのは、以前には共同生活介護の事業を引き受けていた方で、実際には、平成26年度4月以降も共同生活援助を使って区分を出されている方が95というような意味でいいですかね。

会長

事務局お願いします。

事務局

年度の切り替えの時期に重なっているところがありまして、請求の中で共同生活介護ということで来ているものをここに記載させていただいているような状況があります。

会長

3月現在の数字で、請求のところはまだ残っていたのですかね。

事務局

そうですね。

会長

そういう事情があるようなのです。そうすると、その144を、84番を実績なしということもなかなかしにくいというところで、悩ましいのですが、でも、そうすると、なんで95人は内数ということになるのでしょうか。

事務局

85番の実績は請求ベースで上がってきているもので、そこから共同生活援助に引

き続き一元化された方がほとんどなので、必ずしも内数ではないのですけれども、実質のところ内数と考えていただいて差し支えないというところでご説明申し上げました。

会長

この書き方、いかがでしょうか。

委員

今の説明だと、この85番の95人というのは4月時点で請求が上がった方というお話なので、実利用者数95人というところすごくわかりにくい表現だと思いますので、「平成26年度からは一元化されたため、共同生活介護利用者は26年度からは共同生活援助に含まれている」と書いて、ここはもう「実績なし」にしたほうがいいと思いました。

会長

総合評価にも「実績なし」と書いていますので、僕はそろえると、ここをバーにして、上で144人で、その内訳としてケアホーム相当が95人いたと書くとかだけですね。でも、書いたほうが平成24、25年度との比較ができるという点においては、あったほうが丁寧といえば丁寧。

制度改正があって実績がないものはバーにしてきたこれまでの経緯があるので、ここはバーにするということで、グループホームに144人、その内訳の数をケアホーム相当の方が95人いらっしゃるという趣旨を書いていただくということにしましょうか。よろしいですか。

事務局

はい。

会長

そのほか、ご意見、ご質問ありますでしょうか。

(発言する者なし)

会長

それでは、評価ですけれども、先ほど言ったように、85番がバー、その他が ですが、1カ所だけ、97番が×、その他は ということでよろしいでしょうか。

それでは、それで進めさせていただきます。

では、続いて100番から108番、お願いします。

事務局

(管理番号100～108番の事業について説明)

会長

福祉まつりについて、平成25年にやらなくて、26年に復活したりというところもあるようですけれども、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

(発言する者なし)

会長

よろしいですか。

それでは、評価ですけれども、106番のバリアフリーマップの見直し・充実のところは、残念ながら平成26年度は実績なしということで×、それ以外のところはということで進めさせていただいてよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

では、109番から最後までお願いいたします。

事務局

(管理番号109～114番の事業について説明)

会長

では、委員からのご意見、ご質問あればお願いします。

(発言する者なし)

会長

問題はないですかね。斜線以外のものについてすべて というところで進めさせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

では、この協議会ではそういうことで進めさせていただきます。

では、平成26年度、昨年度における障害者計画の進行管理につきましては以上です。総合評価につきましては、次回の会議で取り扱うということですので、委員の皆様方、引き続きよろしくお願いいたします。

(3) 障害福祉計画 (第 3 期) の進行管理について

会長

では、次に(3)障害福祉計画(第3期)の進行管理について進めたいと思います。

こちらは数値による評価でありまして、機械的に5段階評価を当て込むということになりますけれども、まとめて事務局から説明をお願いいたします。

事務局

(資料4について説明)

会長

ありがとうございました。

では、資料4、障害福祉計画(第3期)の進行管理、評価自体は機械的ですが、ここはちょっと少ないようだけれどもどうなっているのか等のご意見がありましたらお願いいたします。

委員

資料の3ページ(4)相談支援サービスの地域移行支援のところですが、平成26年度は実績がゼロで、計画比もゼロ%ということですが、実績の数字というのは、平成26年度に新規でサービスを利用し始めた人がゼロという意味でゼロですか。

会長

事務局、お願いいたします。

事務局

障害福祉計画の実績につきましては、東京都への報告が各年度の3月期実績となっておりますので、平成26年度の3月期に請求のあったものが実績として載っております。

委員

3月期のみの実績ということですね。わかりました。年度の途中には何人か支援していた方がいたので、何でゼロなのかなと思ったのですが、了解です。

会長

そこは私も事前に確認したところですよ。年間で見ると実績はあることはあったようなのですが、3月はたまたまゼロになったということです。

何か補足ありますか。

事務局

補足ではないのですが、プラザさん、み～なさんも含めて、地域移行のことをやる一般相談としてはとっているところなのですが、恐らく地域移行とか地域定着に乗っからない形での入院から地域へとか、入所施設から地域へという支援を普通やられてはいると思うのです。これはあくまでも事業に乗った形の実績、要するに請求をしているかどうかというだけの実績なので、そういう複数の実績に乗っからない、事業に乗っからない形でやられているところもあるので、そういうところは、ちょっと反映されていないのかなと思います。

会長

実際に事業をやっているけれどもというところは、多分多々あるのだろうと思います。でも、請求の実績で見ると、しかも3月のその月だけの実績で見ると、こういう結果になったというところになります。

その辺のところは、議事録にも残して、市民の皆さんにも事情として説明して、この協議会で明らかにしたというところでは意義があったかと思います。

その他、お願いします。

委員

2点あるのですが、児童の関係が入っていないのは、3期は児童の関係を計画に上げていなかったからでしたかというのが1点。

もう一つは、先ほど見ていた資料3の数と違う数が載っているような気がするのですが、それも3月期の請求ということでの違いということでしょうか。例えば居宅介護のあたりの時間数がずいぶん違うなと思ったりしました。

会長

事務局、お願いできますか。

事務局

ご指摘のとおりで、障害福祉計画（第3期）については、当時、児童については子

育て分野でやるので、こちらでは計画としては載せませんと言い切ってやらなかった経緯があります。結果としては、障害分野でやりましょうということになり、第4期からはこちらで計画を立てているところです。

次に、数値の部分ですけれども、障害福祉計画の実績は3月期実績であるのに対し、障害者計画の実績は年間の実績値となっております。

会長

よろしいですか。これも3月のその時点だけの数字になっていますので、数字の齟齬というか差異はあるということ。それで、3期のときは、残念ながら障害児は計画に入っていないという整理をしたということです。

当然、障害児の問題も障害福祉計画でやったほうが、この場で協議もしやすいと思いますので、4期からは載せると。なおかつ、子ども・子育ての分野においても、恐らくこれは参考として示される形になるのですかね。そういう形で、両方の面から進めさせていただければというところだと思います。

その他、ありますでしょうか。

私からで、やはり短期入所のニーズが恐らくどこの地域も高いのですけれども、なかなか場所がなくてニーズに追いついていかないところもあるかと想像します。これは、既存の施設や病院が医療型や福祉型の短期入所を受けるということももちろんあるのですけれども、グループホームの空床利用型というところを考え合わせると、府中市でも、もう少しここを増やしていかなければいけないところなのかなと考えますが、皆さんのところで何か、この短期入所に関してご意見をお持ちの方いらっしゃいますか。足りているようなイメージですか。

委員、お願いします。

委員

短期入所に関しては、本当にニーズが非常に高まっていて、利用したくてもできないという実情があると認識しています。特に医療的な部分に課題がある方の利用できる短期入所というのが本当になくて、例えば、重心の方だと、センターや医療型の短期入所施設があるにはある。いっぱいいないのでなかなか利用しづらいですが、あるにはある。そうではない、例えば、発作への座薬が必要なものだけでも、寝たきりではないような方が使えるような短期入所先はゼロであるというところがあるので、例えばグループホームの空室利用に関しても、やはり医療的な支援が入らないとなかなか利用できないので、その辺をどうやっていくかと。府中市でも、市の単独事業として、心障センターで短期入所をやっているのですが、そこで医療的な対応が全然できていない実情もありますし、そこを何とかしていかないと、今のけやきの森学園、特別支援学校の生徒さんが非常に重度化されているので、府中市の課題として、やはりそこはきちんと対応していかなければいけないのだろうと思います。

会長

ありがとうございます。

これは、重度といっても、そこまで重度ではないけれども、重度だと福祉型が入所できなくて、いきなり病院になるという、この間がないというところは多分あるだろうと思ひまして、恐らくこれは、3年後の見直しのところで、重度者対応のグループホームみたいなのところも議論になっていたように思ひます。そちらの見直しの動向も見つつ、グループホームプラス空床利用型の短期入所であったりもする、重心まで行かない重度者対応のそういったサービスが創設されるといいなということかなと思ひます。

そのほか何かありますでしょうか。

委員

短期入所に絡めて言ひますと、従来の障害種別に分けられない人たちがずいぶん増えてきていて、医療的なケアはあるけれども動ける人たちが増えていると思ひます。それから、医療的なケアの中でも、特に人工呼吸器を使っている方の泊まれるところが足りません。某都立施設は、新規利用者はもうほとんど使えないような形になっていると聞いています。

会長

どの地区でもその問題は多分あります。特に、医療的なケアが必要なだけでも動けるといふ人は、本当に重心判定がとれなくて医療機関が預かってくれないという問題が多発していますね。そういう方が増えているということに対応した制度ができていかないといけないなと思ひます。

あと、人工呼吸器ですね。それはもう本当に、病院でもなかなか受けてくれないというところですね。

その他ありますでしょうか。

委員

今の問題と違う問題でいいでしょうか。学校に行っている障害の子供たちには放課後デイがあるのですが、そうではなくて、卒業して作業所に行くお子さんが、結構早く帰ってくるのですね。そういうお子さんが夕方までの時間、行くところがなくて困っている部分があるのです。お母さんたちも働いている方が多いので、そうするとフリーで子供たちは何をしたいかわからないという部分がありまして。放課後デイのグループは、私たちが最初つくったときは1つ2つしかなかったのですけれども、今すごくたくさんあるんです。だから、そっちにもう少し力を注いで、そういうところに少し補助金でも出してください。就職して長い時間働いているお子さんはいいですけども、そうじゃないお子さんがたくさんいるという実態を知っておいてもらいたい。よろしくお願ひします。

会長

府中市の課題として、そういうところもあるということですね。

そもそも卒業して行くところがないという地区も結構あって、その生活介護をつくるという運動をやっているわけですが、生活介護に行っても、早く帰ってきてしま

う、その間の時間をどうするというのが新たな課題としてあるのかなと今、認識しました。

委員

就職しても、最初「2時半まで仕事」と言われていたのが、途中で「12時半でいいよ」といって、そういうお子さんもかなり増えてきているんですね。そうすると、その後どうしようかという。

会長

それはまた、本人が働けるのに、もう12時半で帰ると。

委員

徐々にカットされて。

会長

それはまずいですね。それはちょっと監査に入っていた方がいいかもしれませんね。事業所として、それはやり方がまずいと思いますね。

委員

就職しても、子供たちはなかなか先、見通しが厳しいということを実感に感じています。

会長

生活介護の事業所も早く帰し過ぎるというのも、そもそもの課題なのかもしれないですね。

その他、よろしいでしょうか。

委員

移動支援があるのですけれども、今、私たちのところでもサービス等利用計画を立てていて、移動支援を使いたい方がたくさんいらっしゃるのですが、どうしても土日に人材がなくて、結局ヘルパーさんがいないので対応ができないということが現実になっています。ここでやはり延べ利用時間数が になっているのですが、本来であればもうここは になると思うのですけれども、結局、社会資源がないというのが問題かと思っています。

会長

移動支援についても、ニーズはあるけれども、土日のヘルパーが少ないという事情もあって、社会資源の問題で延べ利用時間が抑えられたのではないかとのご指摘ですね。ありがとうございます。

本当に土日の働き手が少ないですね。地域の課題の認識として、この場で共有しておきたいと思います。

その他ございますか。

委員

担い手の話をさせていただいたので、地域移行支援も全く同じ状況だということだけ申し上げておきたいと思います。実績がどうしても計画に比してマイナスとか、 に

ならないのですけれども、現実的には、地域移行支援を必要としている方は大勢いらっしゃることは間違いなくて、ただ、やはり担い手の事業所が非常に少ないし、地域移行支援という指定を取っていたとしても、実際の地域移行支援のノウハウを発揮して活動に取り組めないという事業所も市内にあるかと思いますので、移動支援と同じ課題を抱えているといえます。

会長

ありがとうございます。

たしかに、地域移行支援のニーズがないと市民に見られても困りますので、ニーズはあるのだというところはこの場で共有しつつ、議事録にもしっかり残しておきたいと思います。

そうして考えると、 になっていないところというのは、マンパワー不足とか基盤不足のところはほとんどなのかもしれないですね。特に今、相談支援は計画作成を含め、かなり多忙な中でやっているという現状も踏まえなければいけないと思います。

では、そろそろ締めていきたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

それでは、進捗状況は、事務局の提案どおりというところで進めさせていただきたいと、この障害福祉計画（第3期）の進行管理については、それで進めさせていただきたいと思います。

事務局は、本日の協議を踏まえ、進行管理一覧表に評価の入力をよろしく願います。

3 その他

会長

では、最後に次第の3番、その他について、事務局から何かありましたらお願いいたします。

事務局

(事務局より事務連絡)

会長

ありがとうございました。

それでは、最後に委員の皆様から何かございますでしょうか。

委員

総合評価を次回行うということですが、総合評価の事務局で書かれた内容が、単に事業内容をやりましたという経過報告のところもあれば、こういったところに課題があるという課題提起をしているところもあり、どういう基準で評価の項目を書いているのかがわかりづらいので、もうちょっと統一された形で、事務局として評価をしていただいたほうがいいかなと少し思いました。修正できるのであれば、その辺を書き加えていただけたらいいと思います。

会長

あとは何かございますか。よろしいでしょうか。

では、これをもちまして本日の会議は終了いたしたいと思います。

皆様、お疲れさまでございました。ありがとうございました。

以上